

令和7年度活動報告

矢板市地域おこし協力隊 坂和 紀明

移住促進 × 交流人口 × 若者支援 × 広域連携



活動の4つの柱

今年度の活動は、以下の4つの柱を軸に展開しました。それぞれが独立した活動ではありますが、相互に連携し合うことで、移住促進と交流人口創出の両輪を形成しています。



1. 移住・定住促進

相談件数を段階的に増加。今年度は約130件弱を見込む。



2. 交流人口創出

スポーツイベント(大会)と矢板市移住者交流会(やいたび)を組み合わせ、市外または県外から約500名の交流人口を創出。



3. 高校生団体 YAD

高校生と地域をつなぐハブ機能を担い、サードプレイスと将来を見据えた関係人口化を推進。



4. とちぎ地域おこし協力隊まるごとプラットフォーム

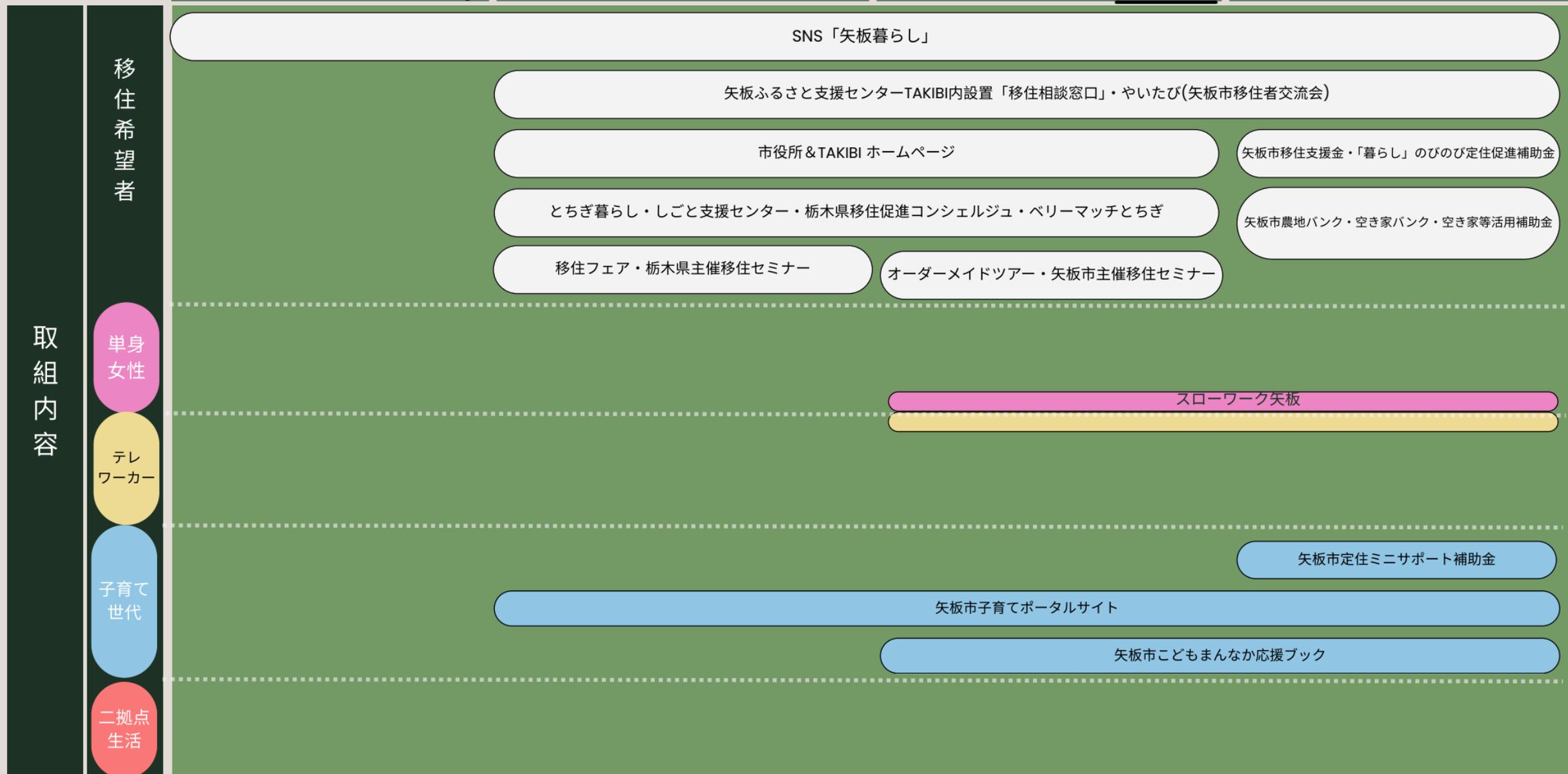
「移住定住・空き家」プラットフォーム：リーダー

栃木県域プラットフォームを通して、協力隊員同士の横のつながりを深めると共に、研修を通して自身のスキル向上。

矢板市移住・定住施策カスタマージャーニーマップ

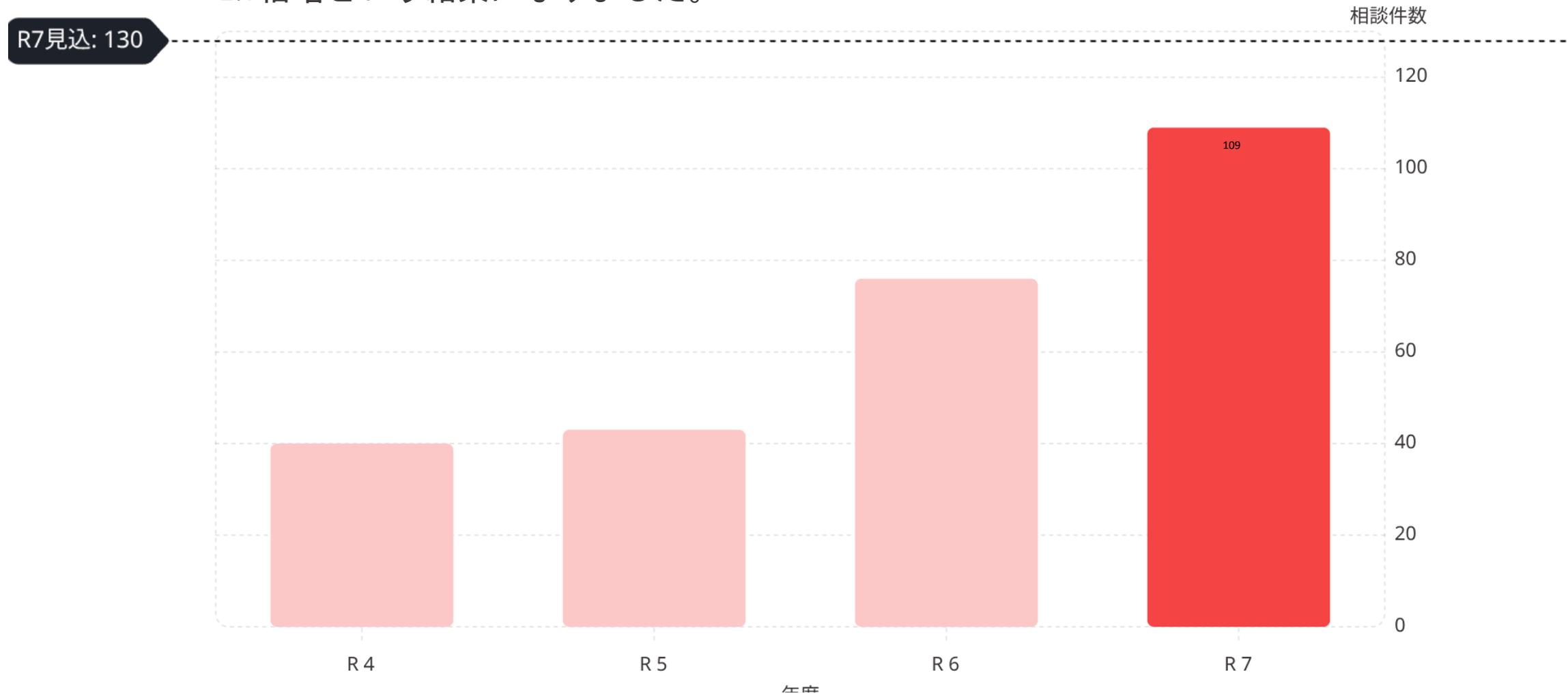
矢板市総合政策課 作成

関心度合	低関心	中関心	高関心	移住・定住
行動	<ul style="list-style-type: none"> ・地方移住への興味を示すものの、自ら能動的に行動するフェーズではない ・地方移住に関する情報が目に止まれば読むレベル ・移住のメリット、デメリットを考え始める 	<ul style="list-style-type: none"> ・移住先を絞り込むための情報や気になる地域のリアルな情報を能動的に収集 ・移住を検討している地域の「観光 & 生活プラン」の立案 ・移住を検討している市町村を訪問 	<ul style="list-style-type: none"> ・移住検討市町の訪問、物件の見学などを通じて、「日常生活の利便性/交通手段」「住居」「生活費」「自然環境」「就労先」などを検討する ・矢板市民との交流 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のイベントや催しに参加することを通じて、人とのつながりを大切にする ・移住後の充実した矢板ライフを発信していく 



移住相談件数の推移

令和6年度から令和7年度にかけて、移住相談件数は増加傾向にあります。2月28日現在、109件ですが3月にイベントを控えているため令和7年度の最終的な移住相談件数は約130件程度の見込みで、前年度比約1.7倍増という結果になりました。



相談件数増加背景

移住相談件数の増加は、下記4つの手段を組み合わせた結果、実現しています。体験・認知・アクセス・連携の4軸が相互補完的に機能しています。



① 矢板市移住者交流会(やいたび)

今年度3回実施。体験交流を通じた移住関心層の獲得。



③ 窓口対応 (電話・メール・オーダーメイドツアー)

通常業務の中で行われる、移住検討者からの矢板暮らしに関する個別対応。



② 都市部開催移住フェア

首都圏での出展による認知拡大と個別相談への導線構築。



④ オンラインセミナー

広域集客により、地理的制約を超えた相談件数増加。





やいたび 第3弾 (5月31日(日))

やいたび第3弾(初夏の矢板を満喫！)

申込者内訳

申込総数：25名

市内：11名 / 市外：14名

協力してくださった方々

- ・元矢板市地域おこし協力隊 室井氏
- ・矢板市文化財愛護協会会長 白石氏

プログラム内容

- ・市の象徴資源「ツツジ」を活用した地域案内
- ・BBQ交流による参加者同士のつながり形成
- ・スマホスピーカー制作ワークショップ

体験と交流を掛け合わせ、矢板市への愛着と関心を醸成しました。



矢板市移住者交流会

やいたび

初夏の矢板を満喫！
誰でも大歓迎！

ツツジ鑑賞

2025.
5.31(土)

時間：8時45分～16時15分
場所：八方ヶ原・県民の森など
参加費：大人1人 2500円
小学生以下1人 1500円
(交通費・昼食代・ワークショップ代込み)

※マイクロバスにて各スポットを回ります
※雨天決行・荒天中止

BBQ

ワークショップ

お申し込みはコチラから ※5月22日(木)締切 ▶

やいたび 第4弾 (10月19日)

やいたび第4弾 (移住はレジャーじゃない、日常だ!)

申込者内訳

申込総数：29名

市内：11名 / 市外：18名

協力して下さった方々

- ・ KIDS GYM YAITA 体操教室
- ・ 荒井行政区の皆様
- ・ ひなたぼっこ(子育てサロン)
- ・ 渡辺りんご園

プログラム内容

- ・ 矢板市文化スポーツ複合施設
利用・見学
- ・ ぼうじぼの藁でっぼう作り
(地域伝統文化の継承)
- ・ りんご狩り
(矢板市の農業資源を体感)

地域ならではの資源を体験することで、移住後の生活イメージを具体化する機会となりました。



Welcome! Day trip in Yaita

矢板市移住者交流会

やいたび

vol.4

2025
10/19(日)

8:45~16:00
矢板市文化スポーツ複合施設
市内りんご園など

伝統行事を体験 & 矢板からだ塾
地域の行事「ぼうじぼ」で
使う藁でっぼうづくり。
文化スポーツ複合施設で
体を動かすアクティビティ。
親子で楽しめます!

参加費
大人 2000円/名
小学生以下 1000円/名
(交通費・昼食代・
ワークショップ代込み
※りんご狩り体験料別途)

お申込みはこちらから
*10/8(水)締切



矢板市移住者交流会

やいたび

第五弾

やいたび 第5弾 (3月予定)

やいたび第5弾 (静かな時間が流れる矢板の春)

第5弾は、矢板市の歴史的資源を活かしたプログラムを予定しています。
ミツマタ群生地見学および寺山観音寺を会場にした、座禅・写経体験を通じて、日常から離れた深い時間を参加者と共有する予定です。

～静かな時間が流れる矢板の春～ 2026. 3.29 Sun

矢板市に移住された方、移住を検討されている方、
矢板市をさらに知りたい方、どなたでも参加できます。

8:45-15:45

料金

大人1名

¥2,000

子供1名

(小学生以下)

¥1,500

(昼食・体験料込)

場所

ミツマタ群生地

与楽山 観音寺

山縣有朋記念館

※マイクロバスで
市内を周遊します。

▶参加申し込みは
こちら



* 3/19(木)締切

スポーツイベントによる交流人口創出

8月・11月・2月・3月の年4回にわたりスポーツイベントを開催しました。各スポーツにおいて小学生から大人まで幅広い世代が参加し、市外・県外から約450名が矢板市を訪れました。



小学生サッカー大会

8チーム参加。矢板中央高校サッカー部とのコラボ企画。



小学生女子ミニバス大会

地域の女子スポーツ振興と広域交流の両立を実現。矢板中央高校女子バスケットボール部とのコラボ企画。



スポーツ鬼ごっこ交流会

福島県須賀川市のスポーツ鬼ごっこ団体とのコラボ企画。



ピックルボール大会

現在話題沸騰中のニュースポーツの大会を矢板市初開催。



スポーツイベント (8月23日(土)~24日(日))

U-11 BURNING CUP IN YAITA



申込総数：90名

□協力してくださった方々

- ・矢板市サッカー協会
- ・矢板中央高校サッカー部

□ご協賛いただいた方々

- ・高橋スポーツ 様
- ・SLOW WORK 矢板 様
- ・ココマチにぎわい館 様
- ・山の駅たかはら 様
- ・矢板市商工会 様
- ・やいた応援大使 加納清楓 様

イベント内容

- ・市外&県外の少年サッカーチーム8チームを招いたサッカー大会の実施。
- ・矢板中央高校サッカー部とのコラボ企画。
- ➔16名の学生が審判や指導者として運営協力。
- ・大会の入賞チームや、優秀選手には矢板市の特産品を贈呈した。
- ・2日目には、埼玉の少年サッカーチームが実際に矢板中央高校サッカー部の公式戦観戦。
- ・2日目の昼食は矢板市の旬の食材や特産品を用いたものをビュッフェ形式にて矢板ふるさと支援センターTAKIBIで提供。





スポーツイベント (11月22日(土))

U-12 BURNING FES IN YAITA for Girls Basketball

イベント内容

- ・市外の女子ミニバスチーム 6チームを招いたミニバス大会の実施。
 - ・矢板中央高校女子バスケットボール部とのコラボ企画。
- ➔①高校生の公式戦観戦 (vs鵜沼高校(神奈川県))
- ②両校試合出場選手による バスケ教室開催
- ③女子ミニバス大会開催
- ・ミニバス大会の入賞チームや、優秀選手には 矢板市の特産品を贈呈した。

申込総数：60名

□協力してくださった方々

- ・矢板市バスケットボール協会
- ・矢板中央高校女子バスケットボール部

□ご協賛いただいた団体様

- ・エゴザル 様
- ・株式会社ミカサ 様
- ・Central Arrows 様
- ・masaka yaita 様
- ・矢板中央女子バスケットボール部 様

U-12 BURNING FES IN YAITA for Girls Basketball

11月22日(土)9:30~17:00 @矢板中央高校体育館

U18日清食品アロックスリーグ VS 鵜沼高校

10:00~11:30
1: 矢板中央高校 女子バスケットボール部 試合観戦

12:30~13:15
2: 試合出場選手による バスケ教室開催

13:30~16:30
3: 女子ミニバス大会 開催

募集対象
小学6年生以下で構成される女子ミニバスチーム
募集チーム数
6チーム ※イベント開催最少チーム数3チーム
参加費
1チーム 5000円
申込方法
下記グループフォームorお電話からのお申込み
大会方式
予選は3チームを1ブロックとした全6チーム
2ブロックでブロック毎にリーグ戦を行う。
両リーグの同一順位で順位決定戦を行う。
※リングの高さが305cmとなっています。

事務局： 矢板市地域おこし協力隊 坂和 (0287-47-7017)
協力： 矢板中央高校女子バスケットボール部 矢板市バスケットボール協会
申込はコチラから →

表彰： 優勝:賞品&ボール 準優勝:記念品 優秀選手賞(各チーム1名):記念品
主催： U-12 BURNING FES IN YAITA for Girls Basketball 実行委員





スポーツイベント (2月1日(日))

鬼は外！福は矢板！ スポーツ鬼ごっこ交流会

参加人数：80名

協力してくださった方々

- ・須賀川プレイディ (福島県)
- ・矢板市文化スポーツ複合施設指定管理者 (NPO法人たかはら那須スポーツクラブ)
- ・巻寿司特任大使:川井ゆかり様

イベント内容

- ・現在、SNSを中心に流行中である「スポーツ鬼ごっこ」の交流会を実施。
- ・矢板市文化スポーツ複合施設指定管理者である「NPO法人たかはら那須スポーツクラブ」とのコラボ企画。
- ・当日は福島県で実際に活動している「須賀川プレイディ」の小学生並びに、保護者の方が30名ほど訪れる。
- ・広域の小学生約50名が当日は会場に足を運び地域間交流並びに運動機会創出。
- ・イベント後は、巻寿司特任大使である川井ゆかり氏を招き、恵方巻づくり体験を実施した。



走るのが好きな子 みんな集まれ！

2026
2/1(日)

鬼は外！福は矢板！

「スポーツ鬼ごっこ」交流会

走る！逃げる！守る！ゲームで作戦を考える
今、大注目の新しい鬼ごっこ

日時
日時: 2026年2月1日(日)
時間: 9:30~12:00
(受付 9:00~)
場所: 矢板市文化スポーツ複合施設

参加者全員に
鬼のお面を
プレゼント！

イベント詳細
対象年齢: 小学1~6年生
参加費: 無料
定員: 30名(先着順)
申込方法: 2次元コードから
フォームにて回答

持ち物
・動きやすい服装
・中履き
・飲み物
申し込みは
コチラから
→

企画・運営
主催: 矢板市地域おこし協力隊 坂和
矢板市文化スポーツ複合施設
指定管理者
協力: すかわけスポーツ複合施設
プレイディ
問い合わせ先:
矢板ふるさと実業センター-TAKIBI
(0287-47-7017)

スポーツイベント (3月20日(日))

「BURNING CUP IN YAITA for Pickle Ball Players」

参加人数：32名

□協力してくださった方々

・矢板市内ピッケルボールプレイヤー

□ご協賛いただいた方々

・アローボード 様

・ICHIGO HOUSE CLEANING LLC 様

・矢板温泉まことの湯 様

・山の駅たかはら 様

・有限会社手塚武商店 様

イベント内容

・現在、ニュースポーツとして話題沸騰中のスポーツ「ピッケルボール」の大会を矢板市内で初開催。

・ダブルス制で試合を行い、16ペアを募集。

・参加者の内訳は
市内12名・市外20名(内:県外10名)。

・当日は観客も40名ほどお見えになる。

・大会の入賞ペアに矢板市の
特産品や、無料宿泊券を贈呈した。



栃木県矢板市初開催!

BURNING CUP IN YAITA for Pickle Ball Players

入賞ペアには矢板市内宿泊施設無料券や、市内飲食店お食事券、市内温泉入浴無料券などを贈呈いたします!

2026年 3月20日(日) 10:00~14:00

場所 矢板市文化スポーツ複合施設アリーナ 栃木県矢板市末広町49-1

予約 下記2次元コードよりお申し込みください。
(「テニスヘア」からのお申込みとなります。)

参加費 1ペア4000円(当日現金払い)

参加条件 ミックスダブルス ※女子ペアの参加可能
①年齢合計100歳以上
②年齢制限なし(オープン)
※両クラスともに、「テニスヘア」の示すLv3~Lv7に該当するプレイヤーを参加条件とします。 ※定員に達し次第申込を締め切ります。 お申込みはコチラから

定員 各クラス8ペア 計16ペア

協賛

- ・ARROW BOARD アローボード
- ・ICHIGO HOUSE CLEANING LLC
- ・矢板温泉 まことの湯
- ・山の駅 たかはら
- ・有限会社手塚武商店

主催：栃木県矢板市地域おこし協力隊 坂和
連絡先：矢板ふるさと支援センター-TAKIBI
0287-47-7017
takibi.yaita@gmail.com

※五十音順

交流人口創出の次のステージへ

今年度は約450名という数値成果を達成しましたが、経済的波及効果の最大化に向けた課題も明確になっています。来訪者の「日帰り」から「滞在」へのシフトが次の重要テーマです。

日帰り中心 → 宿泊(滞在)型設計

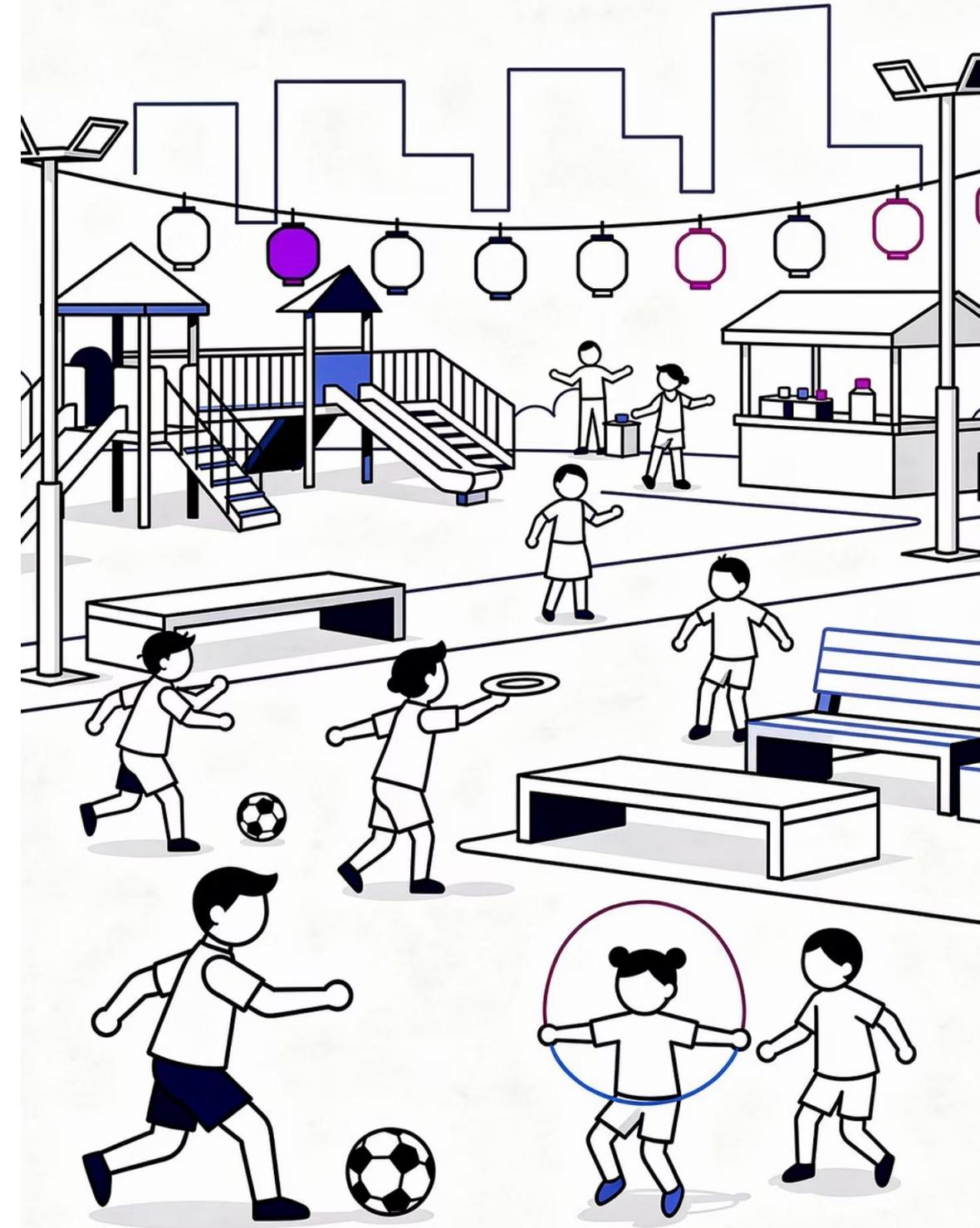
イベント前後の宿泊プログラムや周遊コースを設計し、一人当たりの消費額と滞在時間を増やす仕組みが必要です。

観光・飲食との接続

スポーツ来訪者を地域の飲食店・観光スポットへ誘導するルート設計と情報提供の充実が求められます。

経済波及の可視化

交流人口が地域経済に与える影響を数値化し、施策の説得力と継続的投資の根拠を強化することが重要です。





柱3 高校生団体 YAD

高校生団体 YAD ：地域と若者をつなぐ



YADは、矢板市内の高校生が主体となって活動する地域連携団体です。協力隊はその伴走役として、高校生が地域に関わる「場」と「機会」を創出しています。若者が地域に関わる仕組みをつくることで、将来の地域還流につながります。



高校生と地域のハブ

学校と地域社会の間に立ち、高校生が地域課題に触れ、解決策を考える接点を提供します。そして、地域プレイヤーと高校生を繋ぐ架け橋となれるように自分自身心掛けています。



サードプレイス創出

家庭でも学校でもない「第三の居場所」として、高校生が自由に発想し活動できる環境を整備します。



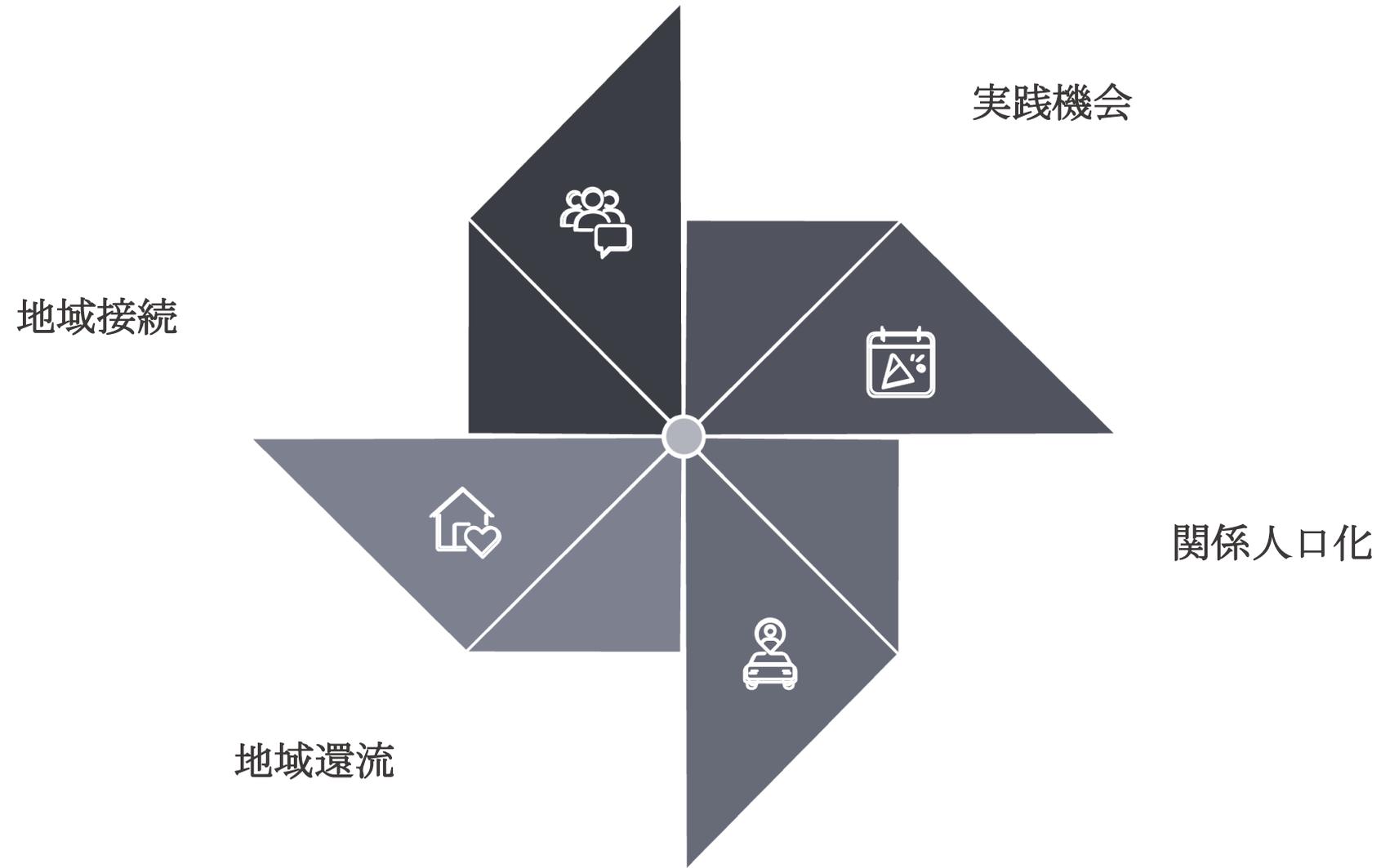
キャリア形成支援

地域活動を通じた実践経験が、将来のキャリアビジョン形成と地域への愛着醸成につながります。



YADが生み出す循環構造

YADの活動は、単なる高校生支援にとどまらず、地域の将来を担う人材を育て、地域に還流させる長期的な循環モデルを形成しています。高校生が地域に関わる経験は、やがてUターン促進や関係人口創出へとつながっていきます。



この循環構造が定着することで、矢板市は若者が帰りたくなる・関わり続けたいくなるまちへと変容していきます。

栃木県域プラットフォームへの参画



今年度は栃木地域おこし協力隊ネットワーク「移住定住空き家グループ」のグループリーダーとして活動しました。所属する各市町隊員の課題と解決策を共有することで、矢板市で活動しているだけでは得られない視点と知識を得ることができました。

イベント・講演会企画

県域全体の協力隊員が学び合う場を企画・運営し、移住定住に関する知識を共有。

勉強会の開催

空き家活用・移住促進の課題をテーマに定期的な勉強会を実施し、実践的な知見を蓄積。

課題抽出とアクション策定

各市町の現題を横断的に整理し、実行可能な改善アクションをグループ全体で模索。



4つの柱の相互作用

各柱は独立した成果を生みながら、互いに連携し合うことで相乗効果を発揮できるよう自分自身心掛けています。やいたびは移住促進にも交流人口にも貢献し、広域連携はオンラインセミナーを通じて相談件数を押し上げます。YADIは将来の関係人口・Uターン促進を育てる土台となっています。

